

メモ (形式的冪級数)

hos

2019 年 9 月 11 日

収束のことは考えない. その代わり, 知らない演算をしない.

\mathbb{N} は非負整数全体の集合とする.

1 形式的冪級数環

R を可換環とする.

X を不定元として, R の加算個の直積 $R^{\mathbb{N}}$ の元 $(a_i)_{i \in \mathbb{N}}$ を形式的に $\sum_{i \in \mathbb{N}} a_i X^i$ (あるいは $a_0 + a_1 X + a_2 X^2 + \dots$) と書いたものの集合を $R[[X]]$ とする. この元を $a(X)$ のように書くこともある. a_i を $a(X)$ の i 次の係数と呼び, $[X^i]a(X)$ のように書く. 0 次の係数を定数項と呼ぶ.

$\sum_{i \in \mathbb{N}} a_i X^i, \sum_{i \in \mathbb{N}} b_i X^i \in R[[X]]$ に対し, 加法と乗法を

$$\begin{aligned} \sum_{i \in \mathbb{N}} a_i X^i + \sum_{i \in \mathbb{N}} b_i X^i &:= \sum_{i \in \mathbb{N}} (a_i + b_i) X^i, \\ \left(\sum_{i \in \mathbb{N}} a_i X^i \right) \left(\sum_{i \in \mathbb{N}} b_i X^i \right) &:= \sum_{i \in \mathbb{N}} \left(\sum_{j \in \mathbb{N}, i+j=k} a_i b_j \right) X^k \end{aligned}$$

で定め, $r \in R$ と $\sum_{i \in \mathbb{N}} a_i X^i \in R[[X]]$ に対し, 定数倍を

$$r \left(\sum_{i \in \mathbb{N}} a_i X^i \right) := \sum_{i \in \mathbb{N}} (ra_i) X^i$$

で定めると, R 代数 (可換環構造が適切に入る R 加群) になることを示す. 加法の単位元は $0 = 0 + 0X + 0X^2 + \dots$, 乗法の単位元は $1 = 1 + 0X + 0X^2 + \dots$. 乗法の結合法則のみやや非自明で, $\left(\left(\sum_{i \in \mathbb{N}} a_i X^i \right) \left(\sum_{i \in \mathbb{N}} b_i X^i \right) \right) \left(\sum_{i \in \mathbb{N}} c_i X^i \right)$ の m 次の係数が

$$\sum_{l, k \in \mathbb{N}, l+k=m} \left(\sum_{i, j \in \mathbb{N}, i+j=l} a_i b_j \right) c_k = \sum_{i, j, k \in \mathbb{N}, i+j+k=m} a_i b_j c_k$$

となることから従う.

この R 代数 $R[[X]]$ を, R 係数形式的冪級数環と呼ぶ.

2 乗法の逆元

環の単元とは、乗法の逆元をもつ元のこと。可逆元。1 の約数。

定理 1. $\sum_{i \in \mathbb{N}} a_i X^i \in R[[X]]$ が単元であるための必要十分条件は、 a_0 が R の単元であること。

Proof. (必要性) $\sum_{i \in \mathbb{N}} b_i X^i \in R[[X]]$ が $\left(\sum_{i \in \mathbb{N}} a_i X^i\right) \left(\sum_{i \in \mathbb{N}} b_i X^i\right) = 1$ を満たすとする、定数項を比較して、 $a_0 b_0 = 1$ である。

(十分性) a_0 が単元のとき、 $\sum_{i \in \mathbb{N}} b_i X^i \in R[[X]]$ を

$$\begin{aligned} b_0 &= a_0^{-1}, \\ b_i &= -a_0^{-1} \sum_{j \in \mathbb{N}, 1 \leq j \leq i} a_j b_{i-j} \end{aligned}$$

として定めると、 $\left(\sum_{i \in \mathbb{N}} a_i X^i\right) \left(\sum_{i \in \mathbb{N}} b_i X^i\right) = 1$ を満たす。 □

$a(X) \in R[[X]]$ の乗法の逆元が存在するとき、それは一意なので、 $a(X)^{-1}$ や $\frac{1}{a(X)}$ と書く。

例. $r \in R$ に対し、 $(1 - rX)^{-1} = \sum_{i \in \mathbb{N}} r^i X^i$ 。